

目指せ！ 管理栄養士

福井大学医学部との連携授業

チーム医療を意識した全国初の取り組み

食・栄養のスペシャリストに
なるべく、それぞれの専門領域を
認識し、学びを深める。



佐藤 裕保
教授

食と栄養から人間の健康を支える管理栄養士の専門性は、幅広い分野で求められています。医療分野においては、チーム医療への参画が求められ、他職種との連携は当たり前のこととなっています。今回、具体的な教育活動として福井大学医学部との連携授業を実施しました。2023年3月、互いのキャンパスを訪問し、福井大学では健康栄養学科学生が腎臓病食についての講義を受講しました。また、本学では福井大学の医学生が慢性腎臓病食の調理実習に参加しました。この調理実習では、通常の調理法だけでなく、一食分の調理ができるIH調理器を応用した、最先端の自動加熱調理器による調理も実習しました。

医師は、患者さんの食事の栄養量を決定しますが、その治療食がどのように作られているのか知識を持っていません。管理栄養士は、患者さんの身体の状態を踏まえながら「何を食べられるのか」「どんな方法なら食べられるのか」などを提案しなければいけません。今回の連携授業は、学生がチーム医療の認識を深め、今後の学びにつなぐ機会となることを目指しました。



病気を理解することで、
食の使命がわかる。



健康栄養学科4年
長野 菜七
仁愛女子高校出身

大病院の管理栄養士による腎臓病食についての講義を、医学生と一緒に受講しました。減塩食のための味覚チェックや低たんぱく質の特殊食品の試食を行いました。腎臓病患者がたんぱく質を制限しないといけない理由など、疾患に合わせた治療食の重要性を再認識しました。

将来、指導する立場と
なった時に活かせる、と感じた。



健康栄養学科4年
宮本 裕菜
羽水高校出身

福井大学医学部の学生4名に対して1名でサポートしながら、慢性腎臓病食の調理実習を行いました。将来、指導する立場になることを考えると大きな意義があったように感じます。管理栄養士は食のチームをまとめながら「食で支える人」ですから。

先生×先輩座談会！

みんな、健康栄養学科で何をを目指す？



開学から15年間、管理栄養士を養成し続けてきた本学科。今回は、入学したばかりの先輩たちに、健康栄養学科に入学した理由やどんな管理栄養士になりたいか聞いてみました。

Q1



健康栄養学科に入学した理由はなんでしょうか。

高橋：管理栄養士の受験資格を取得できるのが福井県内で仁愛大学だけだったこと、身近な場所で学びたかったという理由です。

山崎：私は「身近」な場所で管理栄養士の力を発揮したかったのが理由です。生活の中で使えるような栄養の知識を習得したいと思いました。

大島：私は、高校でチアをしていて、体づくりやパフォーマンス向上のために食事を見直す中、管理栄養士の存在を知りました。食事で身体の調子が良くなり、また、何だか心も晴れやかになったんです。そのことを多くの人に伝えたいと思って調べていくうちに、管理栄養士の免許を取りたいと思いました。



Q2



将来、こういった仕事をしてみたいですか。

鳴瀬：管理栄養士は、「栄養」に関して最も専門性が高い職種です。「何をどれだけどうして食べる」「身体の中でどうなる」を深く知り、ライフステージ別において栄養サポートを実施する役割を持ちます。全国栄養士養成施設協会が報告する2021年度管理栄養士養成施設卒業生の就職先内訳では、約7割が栄養士・管理栄養士として就職し、そのうち半数以上が病院・福祉施設・介護保険施設へ就職しています。

大島：私は、管理栄養士の資格を取得して、「スポーツ × 栄養」をよりたくさんの人に伝えていきたいです。自分自身の経験から、スポーツと栄養が深く関わることで、スポーツ選手のパフォーマンスが向上する可能性があることを知っていますから。

渡邊：栄養の可能性は大きいですね。私は、海外で栄養に関する知見を磨いて、そして日本に持ち帰りたいです。

山崎：私は、食品メーカーでの食品開発に携わりたいです。そうすることで、身内を含めた多くの家族の健康に役立ててもらいたいと思っています。

鳴瀬：スポーツの現場では、管理栄養士が、1人1人のコンディションに合わせて、食事指導や栄養管理を行い、アスリートの身体能力を最大限に引き出します。食品メーカーでは、栄養価やカロリーを重視した商品開発、アレルギー物質の管理なども管理栄養士の重要な仕事になりますね。また、最近では、管理栄養士の仕事は、食品開発での需要はもとより、歯科医院や薬局および美容系でもニーズが生まれています。

1 健康栄養学科1年
大島光結
福井商業高校出身

3 健康栄養学科1年
山崎帆名実
羽水高校出身

2 健康栄養学科1年
高橋侘奈
啓新高校出身

4 健康栄養学科1年
渡邊慧士
三国高校出身

5 **鳴瀬 碧** 教授

参加メンバー



高橋：私は、自分の身体で体験しながら、運動量と栄養バランスについて研究したいです。

渡邊：私は、将来の夢を見据えて、海外への語学留学がしたいです。

山崎：管理栄養士の可能性は未知数なので、その広がりを考えて、大学時代に英語力を向上させておきたいと思っています。

鳴瀬：管理栄養士には、健康を指導する立場としてコミュニケーション能力や好奇心さらに人間としての倫理観も必要です。実習や実験・地域貢献活動などを通して実感したからこそ話せること、そして、グローバルな対話力も活きると思います。いろいろなことをチャレンジしていただきます。

Q3



学生生活でチャレンジしてみたいことを教えてください。

大島：食の知識だけでなく、食をつくる実践力も習得して、どのような栄養が身体に良いのか自分の身をもって検証してみたいと思っています。